Thermal Digiplater TDP-459

［サーマルディジプレーター］

取扱説明書

三菱製紙株式会社

はじめに

この度は、三菱製紙のサーマルディジプレーター TDP-459 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、設置・操作方法を十分に理解されたうえで、ご使用くださいますようお願いいたします。
また、この取扱説明書は本機をご使用中いつでもご覧いただけるよう、お手元に保管しておいてください。
本書の内容については万全を期していますが、万一不可解な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご一報くだされば幸いです。

・ 本書を紛失または汚損した場合は、速やかに最寄りの代理店へ注文してください。
・ 本機を他へ譲渡されるときは、必ず本書を添付してください。

■ 製品到着後確認していただきたいこと

◎ ご注文の品に間違いありませんか。
◎ 輸送中の破損はありませんか。
◎ 付属品はすべてそろっていますか。
※万一破損その他異常がありましたら、直ちに代理店にご連絡ください。

製品改良のため、予告なく本書に記載している仕様の一部を変更することがあります。
本取扱説明書に記載されている社名・商品名は、弊社の登録商標です。

目次

1章　安全にお使いいただくために

この取扱説明書は、本機を安全にご使用いただくためのものです。
本機をご使用いただく前に必ずこの取扱説明書および製品に添付している説明書を読み、設置、操作方法を十分理解された上で、ご使用くださいますようお願いいたします。

◆ この取扱説明書では、危険を回避する注意事項が書かれています。
それぞれの項目について本機の安全をより良くご理解いただくため、次のように安全のメッセージを使い分けています。

⚠ 警　告
取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。

⚠ 注　意
取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

お 願 い
故障の原因になることや使用環境についての内容を示しています。

◆ 当社はあらゆる環境下における設置時、使用時の全ての危険を予測する事はできません。そのため、取扱説明書およびその他の説明書、本機に明記されている警告、注意は安全の全てを網羅したものではありません。
もし、説明書にかかれていない操作、点検を行う場合、安全に対する配慮は全てお客様の責任でお考え願います。
◆ 取扱説明書およびその他の説明書に示されている使用方法、点検の注意事項は、本機を指定の使用目的に使用する場合のみに関するものです。
説明書にかかれていない使用目的に使用する場合、安全に対する配慮は全てお客様の責任でお考えください。
◆ 取扱説明書およびその他の説明書で禁止されている作業は絶対に行わないでください。

1.1　使用環境と設置について

本機を安全にご使用いただくために、下記の点にご注意ください。

⚠ 警　告

アルコール、シンナーなどの揮発性物質や可燃性ガスのある環境では使用しないでください。

⚠ 警　告

本機の上には花瓶、植木鉢、コップなどの水の入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災、感電のおそれがあります。

⚠ 警　告

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

⚠ 警　告

本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としたりしないでください。火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

本製品に使用するコンセントは、本製品付近のアクセスしやすい位置に設置してください。

⚠ 注　意

本機を子供にさわらせたり、ケーブルをいじらせたりしないでください。ケガや感電の原因となることがあります。

⚠ 注　意

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電、故障の原因となることがあります。たとえば、海水浴場、風呂場、温泉、路上、プールサイド等のほこりや砂の多い場所、湿気の多い場所に置かないでください。

⚠ 注　意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

お願い

極端に温度の低い場所や温度の高い場所に置かないでください。たとえば、周辺温度の低いスキー場やスケート場、あるいは直射日光があたり暑くなる屋外等に置かないでください。

1.2　本機の取り扱いについて

本機の取り扱いには、下記の点にご注意ください。

⚠ 警　告

本機を箱から取り出し、平らなテーブルまたは机の上に置いてください。

⚠ 警　告

約55kg ありますので、本機を1人で持つのは危険です。
また、本機を箱から出すときに指や手をけがしないように注意してください。

⚠ 警　告

本機は重心が排出側にありますので、運搬時はバランスに注意してください。
また、運搬・設置は必ず2人以上で行ってください。

⚠ 警　告

本機を滑りやすい床面で運搬するときは、注意してください。

⚠ 警　告

万一、本機を落とし破損した場合は、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜いて、代理店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

電源プラグは確実に差し込んでください。

⚠ 警　告

使用中はサーマルヘッドが熱くなりますが異常ではありません。高温になりますので絶対に手を触れないでください。

⚠ 警　告

不具合の修復については、この取扱説明書に記載のある内容に限って実施し、修復しない場合はお買い求めの代理店にご連絡願います。

⚠ 警　告

電源ケーブルは本機付属のもの以外は使用しないでください。　必ず D 種接地されているアース付きコンセントに接続してください。アースが接続されていない状態で使用され万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。また、ラジオ、テレビジョン受信機等への受信傷害となるおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、代理店にご相談ください。

⚠ 注　意

プリント中、および、データ転送中に電源ケーブルを抜かないでください。本機が故障するおそれがあります。

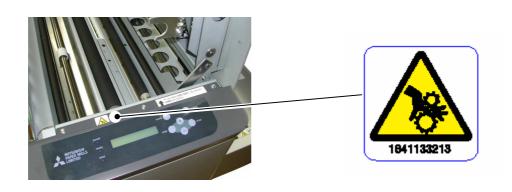
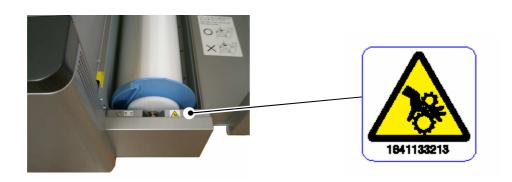
お 願 い

サーマルヘッドの表面を直接手で触ったりしますと、サーマルヘッドが壊れることがあります。また、砂等の硬い異物が入り込むと壊れることがありますので、そのような取り扱いはお止めください。

お 願 い

本機を設置するにあたり、お客様がご使用のコンピュータとの接続は、付属の USB ケーブルを使用してください。

1.3　警告ラベルの種類と貼付け箇所

本機内部には事故防止や危険回避のため以下の警告ラベルが貼付けられています。万一、ラベルが剥がれたり、見えなくなった場合は、ただちにお買い求めの代理店にご連絡願います。

1.4　製版前、および、製版後のプレートの取り扱いについて

製版前、および製版後のプレートの取り扱いは、下記の点にご注意ください。

お 願 い

製版前のプレートの取り扱いについて

- **弊社指定のものをご使用ください。**
- **黒ポリ包装のまま、高温多湿を避け、冷暗所に保管してください。**
  (温度 15℃～25℃、湿度 65%RH 以下)
- **プレートの表面を手で触れないでください。**
  指紋が付着すると印刷品質が劣化することがあります。

お 願 い

製版後のプレートの取り扱いについて

- **直射日光を避けて保管してください。**
- **手および下記のものがプレートに触れないように保管してください。**
  ベンジン、シンナー、アルコールなどの有機溶剤
  これらのものがプリント面に触れた場合、プレートが変色することがあります。

2章　設置とセットアップ

2.1　開梱とセットアップ手順

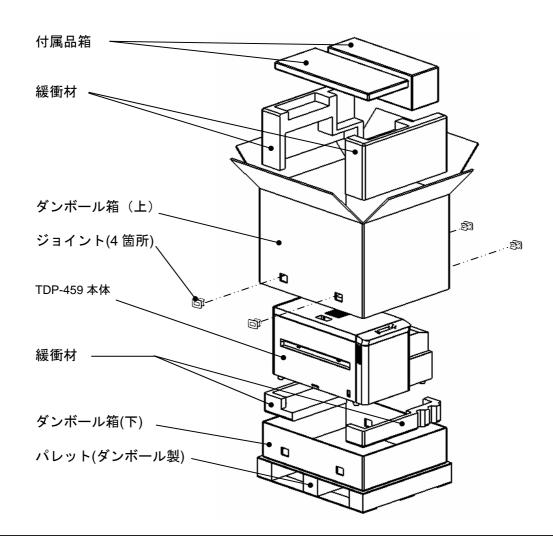
この章では本機の開梱からセットアップについて説明します。
1 章「安全にお使いいただくために」をお読みになっていない場合は、本章にすすむ前に必ずお読みください。

次の手順で開梱とセットアップを行ってください。

1. 梱包を開け、本機と付属品を取り出す。
2. 本機の各部の名称と働きを確認する。
3. 保護部材を取り出す。
4. 電源ケーブルを接続する。
5. USB ケーブルを接続する。
6. プレートトレイをセットする。
7. 電源を入れる。
8. プレートにスプールをセットし、プレートを本機にセットする。

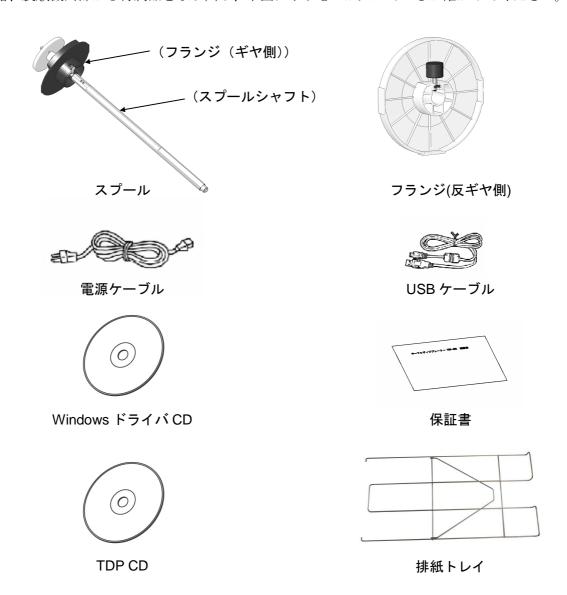
2.2　開梱

まず梱包の内容を確認しましょう。

箱の中には、本機、付属品、緩衝材が入っています。
付属品には、スプール、フランジ、電源ケーブル、USB ケーブル、プレートトレイ、Windows プリンタドライバ CD-ROM（プリンタドライバ取扱説明付き）、TDP CD（TDP-459 取扱説明書、TDP テクニカルガイド、及び TDP Controller）、保証書があります。

⚠ 注　意
本機は重さが約 55kg ありますので、取り扱いに注意してください。取り出し・移動の際は必ず底面をしっかり持ってください。

お 願 い
輸送用部材は捨てないでください。梱包箱や保護部材は、TDP-459 本体の移動や輸送時に必要となります。大切に保管してください。

2.3　付属品の確認

梱包箱、製版機内部から付属品を取り出し、下図に示すものが入っているか確かめてください。

お 願 い

付属品が不足していた場合は、直ちに代理店まで連絡くださるようお願いします。

2.4 各部の名称とはたらき

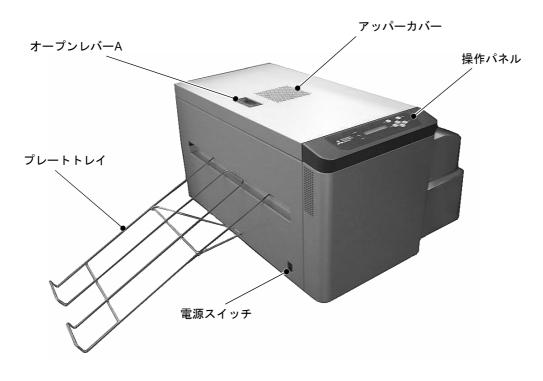
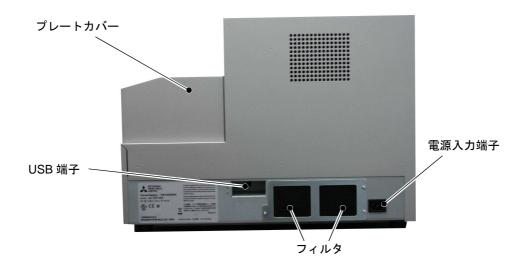
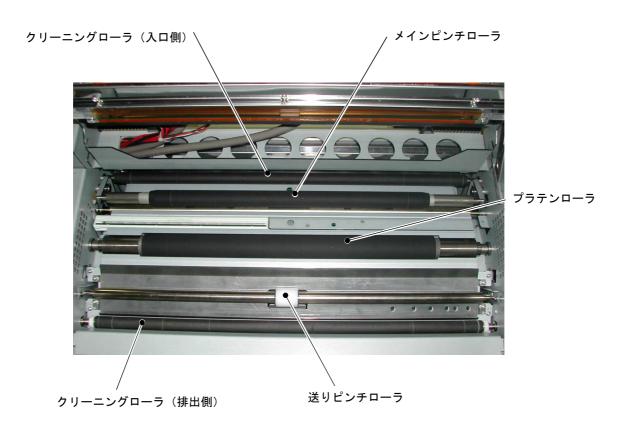
2.4.1 各部の名称

■ 前 面

■ 背 面

■ 内 部

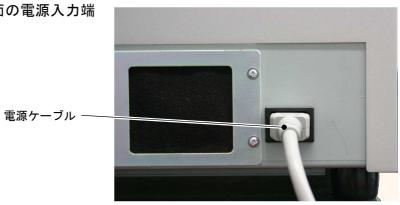
サーマルヘッド

クリーニングローラ（入口側）
メインピンチローラ
プラテンローラ
クリーニングローラ（排出側）
送りピンチローラ

2.4.2　各部のはたらき

名　称	は た ら き
アッパーカバー	このカバーを開いてサーマルヘッド、および、ローラの点検清掃、プレート詰まり時のプレート片の除去などを行います。
操作パネル	操作ボタンおよび液晶ディスプレイ（LCD）と、本機の状態を示すランプが配置されています。
電源スイッチ	本機の電源を ON、OFF にするスイッチです。 “｜”側を押すと電源は ON になり、“○”側を押すと電源は OFF になります。 ＜注意＞電源を OFF にし、再度 ON にする場合は、3 秒以上経過後に行ってください。
電源入力端子	電源ケーブルを接続するところです。
USB 端子	USB ケーブルを接続するところです。
サーマルヘッド	プレートに熱を加えて描画をします。 ＜注意＞プリント時は発熱により熱くなります。また、故障の原因となりますので、素手で触らないようにしてください。
メインピンチローラ プラテンローラ 送りピンチローラ	プレートを搬送するためのゴム製ローラです。
クリーニングローラ （取込側・排出側）	プレート表面のほこりやゴミを除去するためのゴム製ローラです。 入口側、排出側に各 1 本設置しています。
フィルタ	空気中のほこりやゴミが本機内部に侵入することを防ぎます。

2.5　電源ケーブルの接続

次の注意事項にしたがって電源ケーブルを接続してください。

1. 付属の電源ケーブルを本機背面の電源入力端子に差し込みます。

⚠ 警　告

電源ケーブルを接続する前に、電源スイッチが OFF になっていることを確認してください。

⚠ 警　告

電源ケーブルは本製品付属のものあるいは指定のもの以外は、絶対に使用しないでください。D 種接地されているアース付きコンセントに必ず接続（接地）してください。アース接続されていない状態で使用され、万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アースの接続ができない場合は、代理店にご相談ください。

⚠ 警　告

電源ケーブルは奥まで確実に差し込んでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 警　告

濡れた手で電源ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。
また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源ケーブルをいため、火災、感電のおそれがあります。

⚠ 警　告

本製品を移動させる場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜き、外部との接続線を全て外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
また、コードを引っ掛けることによって転倒し、ケガをするおそれがあります。

⚠ 警　告

長期間本製品を使用にならない時は、安全のため必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

⚠ 警　告

たこ足配線をしないでください。
火災、感電のおそれがあります。

2.6 USB ケーブルの接続

1. 付属の USB ケーブルを本機背面の USB 端子に接続します。

本体側がタイプ B コネクタ（正方形）

USB ケーブル
【USB2.0 規格準拠品】

⚠ 注　意

USB ケーブルを抜く場合は、TDP-459 が待機状態になっていることを確認してください。データ転送中に USB ケーブルを抜くと、TDP-459 が故障するおそれがあります。

お 願 い

USB ケーブルは本製品付属のもの、あるいは指定のものをお使いください。本製品付属のもの以外をご使用の場合、正常にプリントできないおそれがあります。

2.7　プレートトレイのセット方法

⚠ 警　告

プレート排出口の内部には、プレートカッターが内蔵されています。指を入れるとケガをするおそれがあります。

1. プレートトレイの取付穴にプレートトレイの爪部分の片方を入れます。

2. プレートトレイを少し開きながら、残りの爪部分を取付穴に入れます。

3. ストッパーをストッパー穴に引っかけて固定します。

⚠ 注　意

プレートトレイのスタック容量は 5 枚です。6 枚以上は積まないようにしてください。

2.8　プレートのセット方法

1. 本機の電源を ON にします。

2. 操作パネルにてセットするプレートサイズを設定します。

「3.3.1 プレートサイズの変更」を参照してください。

3. オープンレバーB を持ち、プレートカバーを開きます。

お　願　い
プレートカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

4. 使用中のプレートがあれば、プレートの先端を引き抜き、スプールと一緒にプレートを持ち上げて取り除きます。

⚠ 注　意
プレートは約 10kg あります。落下させると危険です。落下させないよう注意してください。

5. プレートを黒ポリ袋から取り出し、新しいプレートを用意します。

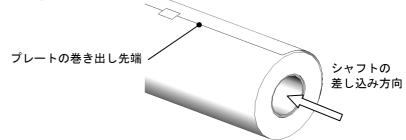
⚠ 注　意

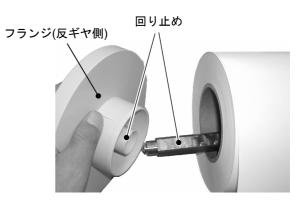
プレートは約 10kg あります。落下させると危険です。落下させないよう注意してください。

6. ご使用になるプレートのサイズ（幅）に合わせて、スプールのフランジ（ギヤ側）位置を変更します。「2.9 フランジ位置変更方法」を参照してください。

7. プレートにスプールのシャフトを差し込み、スプールのフランジ部をプレートに押し付けます。

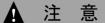
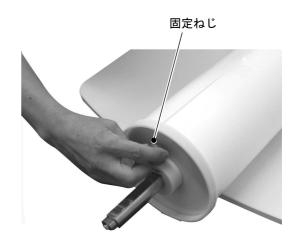
【ワンポイント】

- プレートにスプールのシャフトを差し込む場合は、プレートの巻き出し先端が上方向になるように置いて、スプールのシャフトを右側から差し込んでください。

- プレートの外径よりスプールのフランジの外径が大きいため、プレートの端を作業台上より出して作業を行うことを推奨します。

8. プレートの反対側から、フランジ（反ギヤ側）をスプールシャフトに差し込みます。

【ワンポイント】

フランジ(反ギヤ側)およびシャフトには、回り止め用の平らな部分があります。向き合わせて差し込んでください。

9. 固定ねじを締め、フランジ（反ギヤ側）をスプールシャフトに固定します。

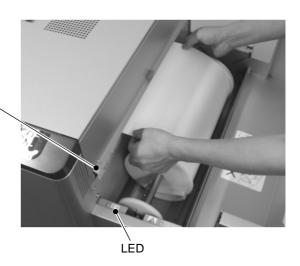
注　意

固定ねじは締付けすぎないようにしてください。フランジ破損の原因となります。

10. 本機の入り口側から見てスプールのギヤが左側になるようにしてプレートをプレートボックスにセットします。

注　意

プレートは約 10kg あります。落下させると危険です。落下させないよう注意してください。

11. プレートの先端から固定シールを外します。
固定シールを外した後、プレート先端を 5cm 程切り取ってください。

⚠ 注　意
固定シールは確実に剥がしてください。シール片が搬送路に入ると搬送不良や、プリント不良の原因となります。

12. プレートをプレートガイドシールに合わせて、手で奥に送ります。

【ワンポイント】

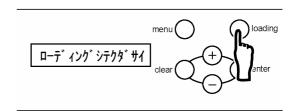
- プレートをプレート挿入口に挿入すると、プレートの送りを補助するために、モーターが動き出し、セット完了と共に停止します。
- プレートセットが完了すると、『NG』の LED が消灯し、『OK』の LED が点灯します。

NG ○　OK ☀

13. プレートカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
プレートカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

プレートカバー

14. 操作パネルの表示部に「ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されていることを確認し、［loading］ボタンを押します。

【ワンポイント】

セットしたプレートと本機に設定してあるプレートサイズが一致していないと、ローディングは正常終了しません。エラー「ﾌﾟﾚｰﾄｻｲｽﾞ ｶｸﾆﾝ」が発生した場合は、実際のプレートと設定したプレートサイズまたはフランジの位置を確認して、再度プレートをセットし直してください。

15. プレートが自動的に前後し、蛇行を矯正します。その後、約 310mmのプレートを 2 枚カットして、強制的に排出します。

【ワンポイント】

［loading］ボタンを 2 秒以上長押しすると、プレートはカットされずにローディング処理が完了します。詳しくは「3.2.2　操作ボタン」を参照してください。

2.9　フランジ位置変更方法

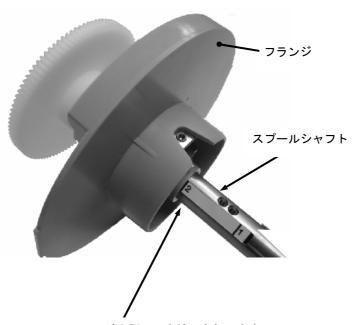
ご使用になるプレートのサイズに応じて、スプールのフランジ位置を変更してください。

1. フランジを固定しているネジを緩めます。

・固定ネジのつまみ部に指をかけ図示矢印方向に回します。

2. フランジをプレートサイズに対応した位置に合わせます。

・右表によりプレートサイズとフランジ位置の関係をご確認ください。

・フランジ内側の面をスプールシャフトに記された線に合わせてください。

フランジ内側の面を線に合わせます。

例）フランジ位置”2”にセットする場合
数字“2”の左側の線とフランジ内側の面を合わせる。

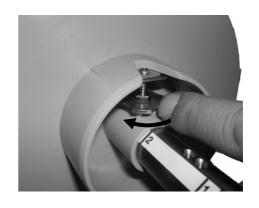
フランジ位置	プレートサイズ
5	454×525
4	459×530
3	400×510 410×510
2	400×510※
1	324×492 326×470 335×492 335×485 340×505
数字なし	310×492

※　400/410mm 幅プレートは、通常「3」の位置でご使用ください。

※　2 の位置は、定型サイズ 400mm 幅プレートをハマダ B52 シリーズで用いる場合にのみ使用します。

※　スプールシャフトには、上表の数字以外に A、B の位置が表示されている場合がありますが、本機種では使用しません。

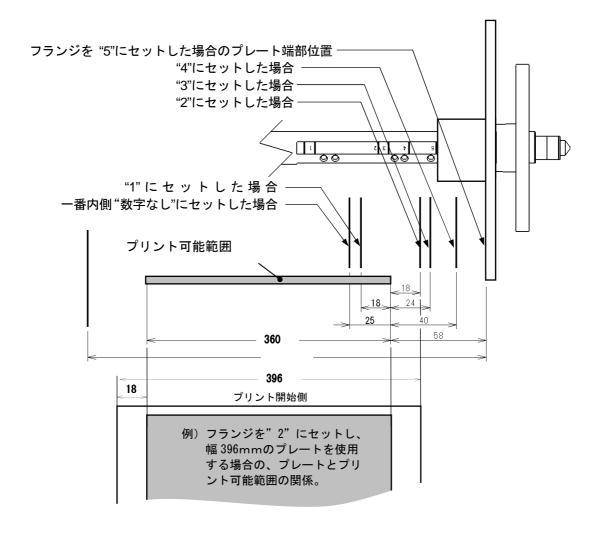
3. 固定ネジを締め、フランジを固定します。

・固定ネジのつまみ部に指をかけ図示矢印方向に回します。回らなくなるところまで確実に締めてください。

（フランジセット位置とプリント可能範囲の関係）

フランジセット位置とプリント可能範囲の関係は下図のようになります。カスタムサイズでご使用になる場合は、プレートに対するプリント可能範囲をあらかじめご確認の上、プリントデータを作成してください。

※　スプールシャフトにフランジセット位置番号として、A、B が記入されている場合がありますが、本機では使用いたしません。

フランジを “5”にセットした場合のプレート端部位置
“4”にセットした場合
“3”にセットした場合
“2”にセットした場合
“1” に セ ッ ト し た 場 合
一番内側 “数字なし”にセットした場合
プリント可能範囲
18
18
24
25
40
58
360
396
18
プリント開始側

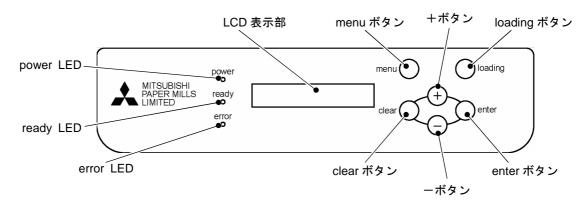
例）フランジを” 2” にセットし、幅 396mmのプレートを使用する場合の、プレートとプリント可能範囲の関係。

3章　操作パネルを使う

3.1　電源スイッチ

電源スイッチは本機の左側面にあり、上側（｜側）を押すと電源が入り、下側（○側)を押すと電源が切れます。

⚠ 注　意
電源スイッチを切る場合は、TDP-459 が待機状態になっていることを確認してください。 **データ転送中に電源スイッチを切ると TDP-459 が故障するおそれがあります。**

3.2　操作パネル

操作パネル上のボタンと LED 及び LCD 表示について以下に示します。

3.2.1　LED 表示

LED 表示の持つ意味は下表のとおりです。

名 称	表示色	内 容
power LED	オレンジ色	電源がオン状態の時に点灯します。
ready LED	緑色	プリント可能な状態の時に点灯します。
error LED	赤色	本機に異常が発生した時、及び本機起動時に点灯します。

3.2.2　操作ボタン

操作ボタンの機能は下表のとおりです。

名 称	機 能
loading ボタン	プレートのセット時に使用します。 ① プレートセット時にこのボタンを押すと、一定量プレートを搬送した後カットを行い、プレートをセット位置に戻します。 ② プレートセット時にこのボタンを 2 秒間以上押すと、プレート先端部のカットを行わず、搬送動作を行った後、プレートをセット位置に戻します。
menu ボタン	メニュー選択時に使用します。
enter ボタン	ユーザーモード時に実行を確定する場合に使用します。
clear ボタン	ユーザーモード時の解除ボタンとして使用します。
＋ボタン	ユーザーモード時の項目選択に使用します。
－ボタン	ユーザーモード時の項目選択に使用します。

3.2.3　LCD 表示

下表に示す本機の状態を表示します。

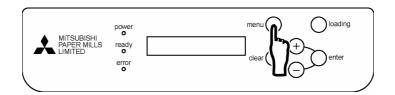
LCD 表示		内容
英語	日本語	
Initializing	ｼｮｷｶﾁｭｳ	• 製版機が初期化中であることを示します。
Booting up	ｷﾄﾞｳﾁｭｳ	• ファームウェア起動中であることを示します。
（ﾌﾟﾚｰﾄ残量ｽｲｯﾁ on の場合）		
□□□×□□□　□□m	□□□×□□□　□□m	• プリント可能な状態を示します。 • 設定されているプレート名称（サイズ）とセットされているプレートの残量(m)が表示されます。 • カスタムサイズ、及びフリーモードチャンネル選択時には、プレートサイズ表示の先頭にチャンネル番号がつきます。 カスタム：C01　□□□×□□□　□□m フリー　：F01　□□□×□□□　□□m
（ﾌﾟﾚｰﾄ残量ｽｲｯﾁ off の場合）		
□□□×□□□	□□□×□□□	• プリント可能な状態を示します。 • 設定されているプレート名称（サイズ）が表示されます。 • カスタムサイズ、及びフリーモードチャンネル選択時には、プレートサイズ表示の先頭にチャンネル番号がつきます。 カスタム：C01　□□□×□□□ フリー　：F01　□□□×□□□
ready to load	ﾛｰﾃﾞｨﾝｸﾞｼﾃｸﾀﾞｻｲ	• プレートのセットが完了し、loading 可能な状態を示します。
Receiving	ﾃﾞｰﾀ ｼﾞｭｼﾝﾁｭｳ	• データ受信中であることを示します。
Printing	ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾁｭｳ	• プリント動作中であることを示します。
Cooling Down	ﾍｯﾄﾞ ﾚｲｷｬｸﾁｭｳ	• サーマルヘッドの冷却処理中であることを示します。 サーマルヘッドが冷えるまで、一時的にプリントを中断します。
Warming Up	ﾍｯﾄﾞ ｶｵﾝﾁｭｳ	• サーマルヘッドの余熱処理中であることを示します。 サーマルヘッドが暖まるまで、一時的にプリントを中断します。
Plate Loading	ﾌﾟﾚｰﾄ ﾛｰﾄﾞﾁｭｳ	• プレートを取込中であることを示します。
Plate Reloading	ﾌﾟﾚｰﾄ ｻｲﾛｰﾄﾞﾁｭｳ	• プレート先端を待機位置に搬送中であることを示します。
Data Creating	ﾃﾞｰﾀ ﾃﾝｶｲﾁｭｳ	• テストプリントデータを展開中であることを示します。
Warning　□□	ﾜｰﾆﾝｸﾞ　□□	• サーマルヘッドに関して注意を促すメッセージです。 詳細は、「5.2 ワーニングメッセージを表示したとき」を参照願います。

3.3　ユーザーモードの説明

ユーザーモードでは、下記に示す設定ができます。

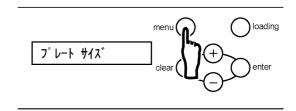
ユーザーモード項目

LCD 表示		内容
英語	日本語	
Plate Size	ﾌﾟﾚｰﾄ ｻｲｽﾞ	登録されたプレートサイズを選択します。
Custom Size Set	ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ ｾｯﾃｲ	プレートカスタムサイズを設定します。
Density	Density	出力画像の調整を行います。(-20%～+40%、1%単位)
Firmware Version	Firmware Version	ファームウェアバージョンを確認できます。
Head Cleaning	ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	クリーニングモードの設定を行います。サーマルヘッドのクリーニングを実行します。
Plate	ﾌﾟﾚｰﾄ	プレート残量の表示、および、リセットを行います。
Counter	ｶｳﾝﾀ	プリントカウント（プリント枚数）の表示、および、リセットを行います。
Remains Sw	ｻﾞﾝﾘｮｳ ｽｲｯﾁ	プレート残量表示の On/Off を設定します。
Platen Cleaning	ﾌﾟﾗﾃﾝ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	プラテンクリーニングを実行します。
Pinch Cleaning	ﾋﾟﾝﾁ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ	ピンチクリーニングを実行、および、クリーニングモードの設定をします。
Manage Count	ﾏﾈｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ	積算プリント距離の表示を行います（単位：m）。 （Manage Count Sw が ON（出荷時設定）のときのみ表示されます）
Interval Set	ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ ｾｯﾃｲ	強制的なプリント停止を行う版数を設定します。（サーマルヘッドのメンテナンス用）

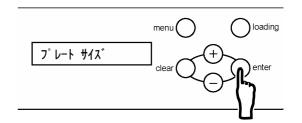
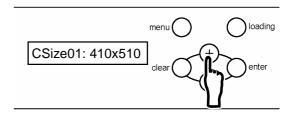
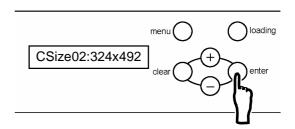
1. 待機状態で［menu］ボタンを押すとユーザーモードになります。

2. ［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すごとに設定できる項目が変更されます。
LCD 表示は、以下のように変わります。

[+] ボタンを押したときの表示変更
[-] ボタンを押したときの表示変更

3.3.1　プレートサイズの変更

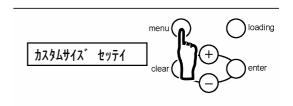
1. 待機状態で［menu］ボタンを押し、LCD 表示を『ﾌﾟﾚｰﾄ ｻｲｽﾞ』にします。

【ワンポイント】

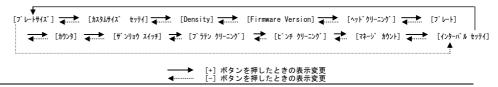
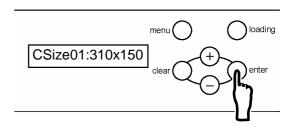
［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、プレートサイズの変更動作を確定します。

3. ［＋］または［－］ボタンを押して、プレートサイズの表示を変更します。

4. ［enter］ボタンを押して、変更したいプレートサイズを確定します。

5. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

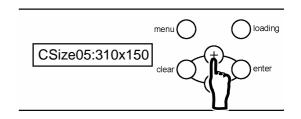
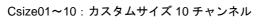
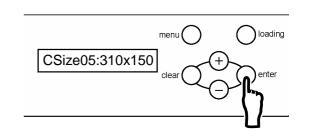
3.3.2　　プレートカスタムサイズの設定

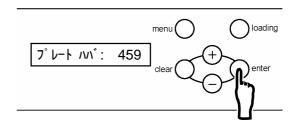
■ カスタムサイズ設定（通常設定）

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 1 回押して LCD 表示を『ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ ｾｯﾃｲ』にします。

【ワンポイント】

［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、プレートカスタムサイズの設定動作を確定します。

3. ［＋］または［－］ボタンを押して、カスタムサイズチャンネルの表示を変更します。

4. ［enter］ボタンを押して、設定したいカスタムサイズチャンネルを確定します。

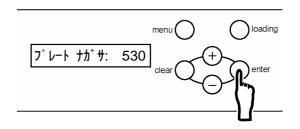
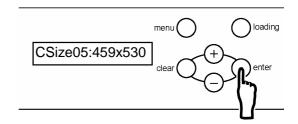
Csize01～10：カスタムサイズ 10 チャンネル

Fsize01～05：フリーモード 5 チャンネル

5. ［＋］または［－］ボタンを押してプレート幅を入力後、［enter］ボタンを押し決定します。

310mm～459mmの範囲で、

1mm単位の設定が可能です。

【ワンポイント】

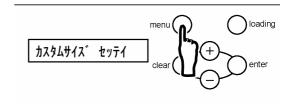
数値の変更は下記のボタンで行います。
［menu］ボタン：+10 します。　［＋］ボタン：+1 します。
［loading］ボタン：-10 します。　［－］ボタン：-1 します。

6. ［＋］または［－］ボタンを押してプレート長さを入力後、［enter］ボタンを押し決定します。

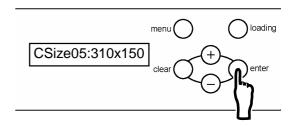
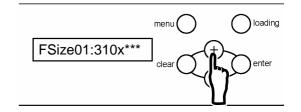
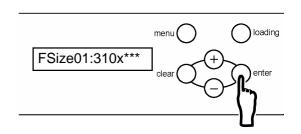
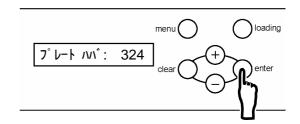
150mm～530mmの範囲で、1mm単位の設定が可能です

7. カスタムサイズ名は、5～6 の操作で入力した値が自動的に名称として設定されます。

8. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ カスタムサイズ設定（フリーモード設定）

フリーモードでは、プレート幅のみ設定し、送り長さはデータで指定した長さを用います。
同一プレート幅で複数の送り長さを使用する様な場合に便利な機能です。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+] ボタンを１回押して LCD 表示を『ｶｽﾀﾑｻｲｽﾞ ｾｯﾃｲ』にします。

【ワンポイント】

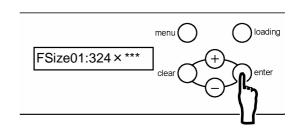
［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、プレートカスタムサイズの設定動作を確定します。

3. ［＋］または［－］ボタンを押して、カスタムサイズチャンネルの表示を変更します。フリーモードでは「FSize」と表示されます。

4. ［enter］ボタンを押して、設定したいカスタムサイズチャンネルを確定します。

5. ［＋］または［－］ボタンを押してプレート幅を入力後、［enter］ボタンを押し決定します。

310mm～459mmの範囲で、

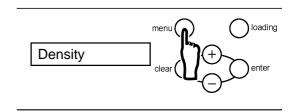
1mm単位の設定が可能です。

【ワンポイント】

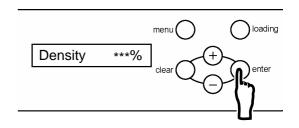
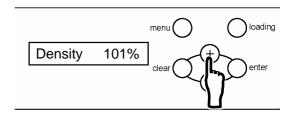
数値の変更は下記のボタンで行います。
［menu］ボタン：+10 します。　　［＋］ボタン：+1 します。
［loading］ボタン：-10 します。　　［－］ボタン：-1 します。

6. カスタムサイズ名は、5 の操作で入力した値が自動的に名称として設定されます。

7. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.3　　プリント濃度の調整

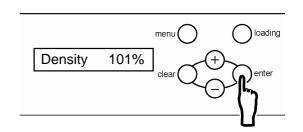
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 2 回押して LCD 表示を『Density』にします。

【ワンポイント】

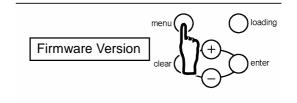
［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、プリント濃度設定画面へ移行します。

3. ［＋］または［－］ボタンを押して、プリント濃度を変更します。

【ワンポイント】

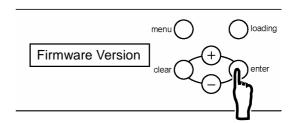
-20%～+40%までの調整ができます。変更は、1%単位で行うことができます。

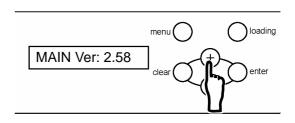
4. ［enter］ボタンを押して、変更したプリント濃度を確定します。

5. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.4　ファームウェアバージョンの確認

1. 待機状態で［［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 3 回押して LCD 表示を『Firmware Version』にします。

【ワンポイント】

［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、ファームウェアのバージョン確認動作を確定します。

3. ［＋］または［－］ボタンを押して、ファームウェアの表示を変更します。

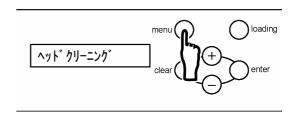
4. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.5　ヘッドクリーニングモードの設定と実行

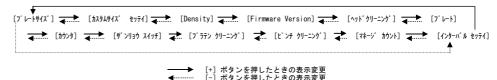
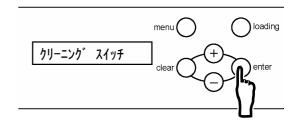
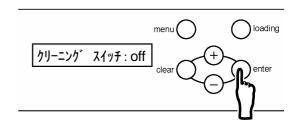
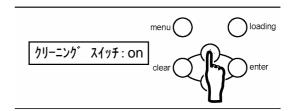
=本機能は現在使用しません=

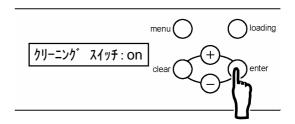
■ **自動クリーニングモードの設定（ON/OFF）**

自動ヘッドクリーニングモードの設定（ON/OFF）を行います。
ON に設定すると、毎回、プリント前に自動ヘッドクリーニングを実行します。
プリンタドライバ出力の場合は、エクストラモード※選択時にのみ本スイッチが有効となります。
スタンダードモード※選択時はヘッドクリーニングモードの設定（ON/OFF）によらず自動ヘッドクリーニングは実行しません。

※　本機に同梱の Windows ドライバ取扱説明書（CD に格納）を参照してください。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

【ワンポイント】

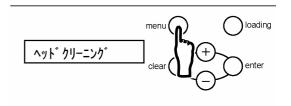
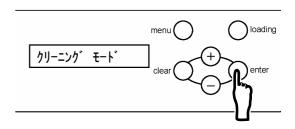
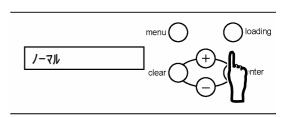
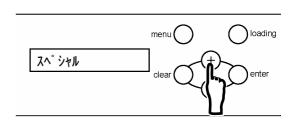
[＋] ボタンまたは [－] ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｽｲｯﾁ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、ヘッドクリーニングモードの設定状態（on/off）が表示されます。

4. ［+］または[ー]ボタンを押すと、ヘッドクリーニングモードの設定(on/off)が切り替ります。

5. ［enter］ボタンを押し、ヘッドクリーニングモードの設定動作を確定させます。

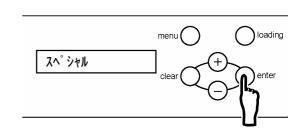
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ ヘッドクリーニングモードの選択

ヘッドクリーニングモード（ノーマルモード／スペシャルモード）を選択します。

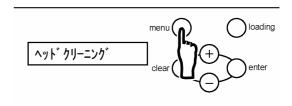
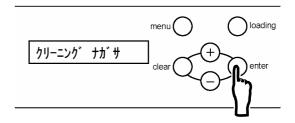
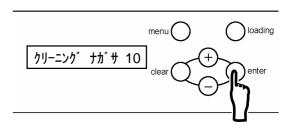
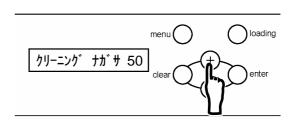
ノーマルモード　：プリント前に、設定した長さの黒ベタバーをプリントし、プリント後黒ベタバーを短冊状にして排出します。

スペシャルモード：プリント画像の先頭余白部に設定した長さの黒ベタバーをプリントします。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを 1 回押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾓｰﾄﾞ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、クリーニングモードの設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、クリーニングモードの設定を変更します。

5. ［enter］ボタンを押し、クリーニングモードの設定動作を確定させせます。

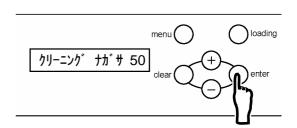
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ クリーニング長さの設定（ノーマルモード）

ノーマルモードのヘッドクリーニング実行時にプリントする黒ベタバーの長さを変更します。

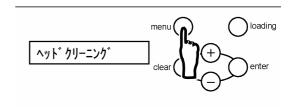
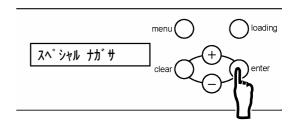
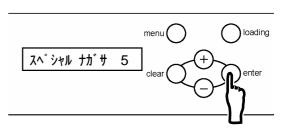
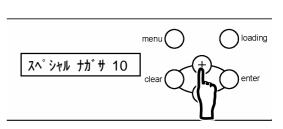
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを 1 回押した後、[+]ボタンを 1 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ﾅｶﾞｻ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、クリーニング長さの設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、クリーニング長さの設定を変更します。

【ワンポイント】

10（mm）から 50（mm）まで、1（mm）単位で設定できます。
設定値を大きくするほどヘッドクリーニングの効果が大きくなりますが、クリーニング時間が長くなります。

5. ［enter］ボタンを押し、クリーニング長さの設定動作を確定させます。

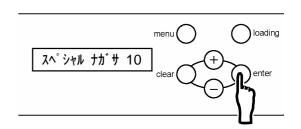
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ クリーニング長さの設定（スペシャルモード）

スペシャルモードのヘッドクリーニング実行時にプリントする黒ベタバーの長さを変更します。

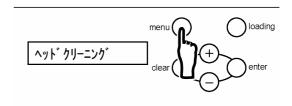
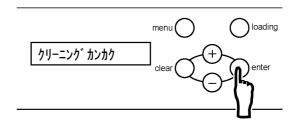
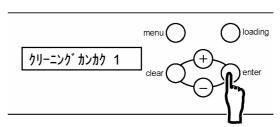
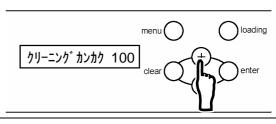
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを 1 回押した後、[+]ボタンを 2 回押して LCD 表示を『ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾅｶﾞｻ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、スペシャルモードのクリーニング長さの設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、スペシャルモードのクリーニング長さの設定を変更します。

【ワンポイント】

5（mm）から 10（mm）まで、1（mm）単位で設定できます。
設定値を大きくするほどヘッドクリーニングの効果が大きくなりますが、
クリーニング時間が長くなります。

5. ［enter］ボタンを押し、スペシャルモードのクリーニング長さの設定動作を確定させます。

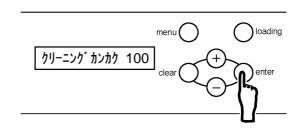
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ ヘッドクリーニング実行間隔の設定

ヘッドクリーニングを実行する間隔を設定します。
TDP コントローラーをご使用の場合、TDP コントローラー側で設定されたクリーニング間隔が優先されます。プリンタドライバ経由、もしくはSDP-RIP for TDP からのプリント時のみ、本設定が反映されます。

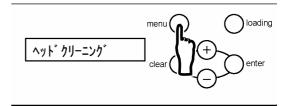
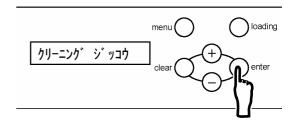
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを 1 回押した後、[+]ボタンを 3 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｶﾝｶｸ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、クリーニング実行間隔の設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、クリーニング実行間隔の設定を変更します。

【ワンポイント】

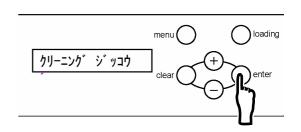
1（回）から 100（回）まで、1（回）単位で設定できます。
設定 1（回）の場合、プリント毎（毎回）にヘッドクリーニングを実行します。
設定 100（回）の場合、100 枚プリント毎にヘッドクリーニングを実行します。

5. ［enter］ボタンを押し、クリーニング実行間隔の設定動作を確定させます。

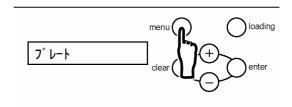
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ ヘッドクリーニングの実行

ヘッドクリーニング（設定した長さ※の黒ベタバーをプリントして排出）を実行します。
※ ノーマルモードのクリーニング長さが適用されます。

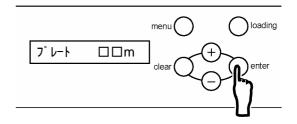
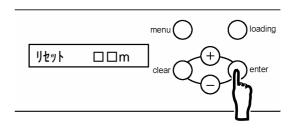
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 4 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを 1 回押した後、[+]ボタンを 5 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、ヘッドクリーニングを実行します。

4. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.6　プレート残量の表示とリセット

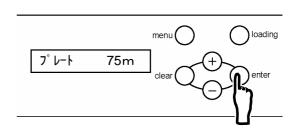
プレート残量の表示とプレート残量（表示）のリセットを実行します。リセットを実行するとプレート残量（表示）が新品時のプレート長さ「75m」となり、次回リセットを実行するまでプリントされた長さ分が 1 m単位で減算されます。
待機画面でプレート残量を表示させる為には、残量スイッチを On にしておく必要があります（設定方法については、3.3.8　残量スィッチ on/off の設定を参照）。

1. 待機状態で［menu］ボタンを 1 回押した後、［+］ボタンを 5 回押して LCD 表示を『ﾌﾟﾚｰﾄ』にします。

【ワンポイント】

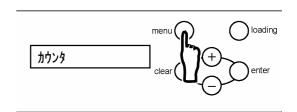
［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

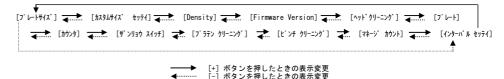
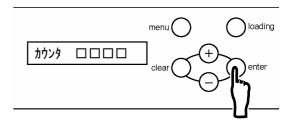
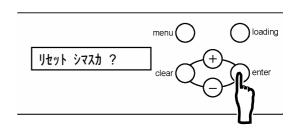
2. ［enter］ボタンを押すと、プレート残量が表示されます。

3. ［enter］ボタンを押すと、プレート残量のリセットが可能な状態となります。
　デフォルトのリセット値は 75m ですが､[+]､[-］ボタンを押すことで、任意の値を入力可能です。

4. ［enter］ボタンを押すと、残量が前項で入力した値にセットされます。

※　リセットを行わない場合は［clear］ボタンを押してください。

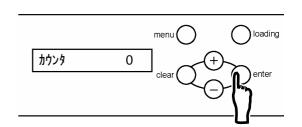
5. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.7　プリントカウンタの表示とリセット

プリントカウンタの表示とプリントカウンタのリセットを実行します。リセットを実行するとプリントカウンタが「0」となり、次回リセットを実行するまでプリントした枚数が積算されます。
なお、TDP コントローラーをお使いの場合、TDP コントローラー側からも本カウンタ値をリセットすることが可能です。

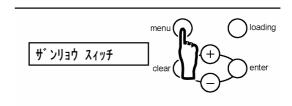
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、［+］ボタンを 6 回押して LCD 表示を『ｶｳﾝﾀ』にします。

【ワンポイント】

［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押すと、プリントカウンタ（プリント枚数）が表示されます。

3. ［enter］ボタンを押すと、プリントカウンタのリセットが可能な状態となります。

4. ［enter］ボタンを押すと、プリントカウンタがリセットされます。

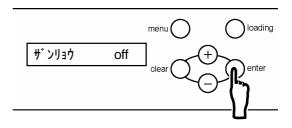
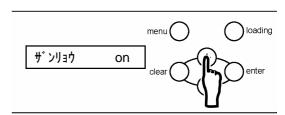
※　リセットを行わない場合は［clear］ボタンを押してください。

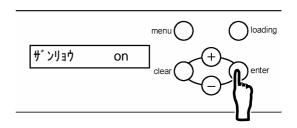
5. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.8　　残量スィッチ on/off の設定

待機画面上にプレート残量値を表示するか否かを設定します。
本機能を有効使用する為には、プレート残量設定を正しく設定しておく必要があります（残量設定については、3.3.6　プレート残量の表示とリセットを参照)。

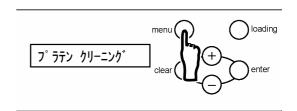
1. 待機状態で[menu］ボタンを押した後、［+］ボタンを 7 回押して LCD 表示を『ｻﾞﾝﾘｮｳ ｽｲｯﾁ』にします。

【ワンポイント】

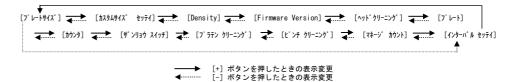
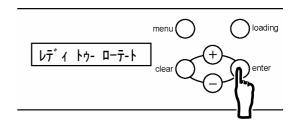
［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

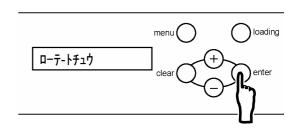
2. ［enter］ボタンを押すと、プレート残量スイッチの設定状態（on/off）が表示されます。

3. ［＋］または[－]ボタンを押すと、プレート残量スイッチの設定(on/off)が切り替ります。

4. ［enter］ボタンを押し、プレート残量スイッチの設定動作を確定させせます。

5. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.9　プラテンクリーニングモード

本機能は、プラテンローラの清掃を行う際に使用します。プラテンローラの清掃方法については 4 章を参照してください。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+] ボタンを 8 回押して LCD 表示を『ﾌﾟﾗﾃﾝ ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

【ワンポイント】

［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押し、プラテンクリーニングモードの設定動作を確定させます。

3. ［enter］ボタンを 1 回押すと、プレート搬送モータが回り、プラテンローラが約 60°回転し、自動的に停止します（アッパーカバーを閉じた状態でないと、ローラは回転しません）。

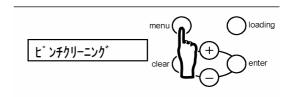
4. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.10　ピンチクリーニングモード

=本機能は現在使用しません=

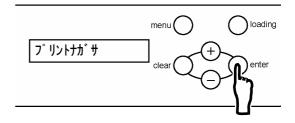
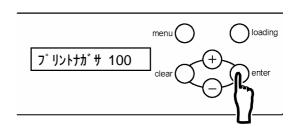
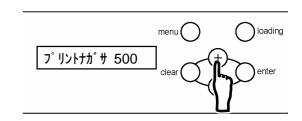
本機能を用いる事でピンチローラの簡易清掃を行えます。本機能実行時には、以下の動作を行います。
　① 設定した長さの黒ベタバープリントを、設定した回数繰返し実行
　② クリーニングのためのプレート搬送動作を、設定した回数繰り返し実行
　③ プリントした黒ベタバー部分をカットして排出
あくまで簡易清掃ですので、定期的な清掃時には、第 4 章に記載された方法で実施する様にしてください。

■ 黒ベタバープリント長さの設定

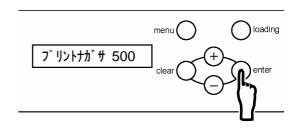
ピンチクリーニング実行時の黒ベタバープリント長さを設定します。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 9 回押して LCD 表示を『ﾋﾟﾝﾁｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

【ワンポイント】

［＋］ボタンまたは［－］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

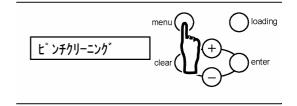
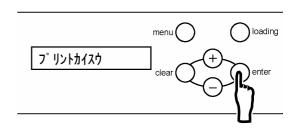
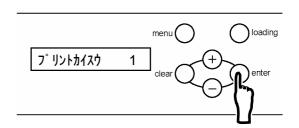
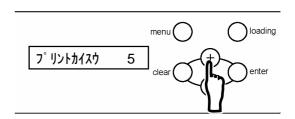
2. ［enter］ボタンを押し、LCD 表示を『ﾌﾟﾘﾝﾄﾅｶﾞｻ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、プリント長さの設定状態が表示されます。

4. ［+］または［−］ボタンを押して、プリント長さの設定を変更します。

【ワンポイント】

100（mm）から 500（mm）まで、1（mm）単位で設定できます。
設定値を大きくするほどクリーニングの効果が大きくなりますが、クリーニング時間が長くなります。

5. ［enter］ボタンを押し、プリント長さの設定動作を確定させます。

6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

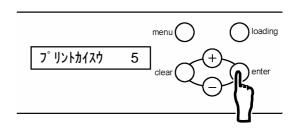
■ 黒ベタバープリント実行回数の設定

ピンチクリーニング実行時の黒ベタバープリント実行回数を設定します。

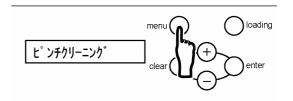
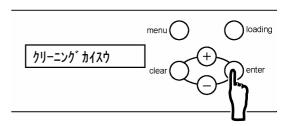
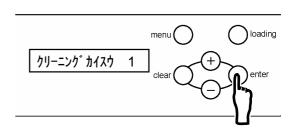
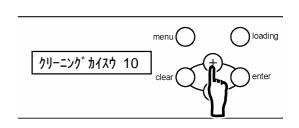
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 9 回押して LCD 表示を『ﾋﾟﾝﾁｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを押した後、[+]ボタンを 1 回押して LCD 表示を『ﾌﾟﾘﾝﾄｶｲｽｳ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、黒ベタバープリント実行回数の設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、黒ベタバープリント実行回数の設定を変更します。

【ワンポイント】

1（回）から5（回）まで設定できます。
設定値を大きくするほどクリーニングの効果が大きくなりますが、
クリーニング時間が長くなります。

5. ［enter］ボタンを押し、黒ベタバープリント実行回数の設定動作を確定させます。

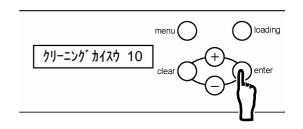
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ クリーニング実行回数の設定

クリーニング（プレート搬送）の実行回数を設定します。

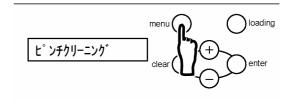
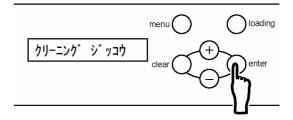
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 9 回押して LCD 表示を『ﾋﾟﾝﾁｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを押した後、[+]ボタンを 2 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｶｲｽｳ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、クリーニング実行回数の設定状態が表示されます。

4. ［＋］または［－］ボタンを押して、クリーニング実行回数の設定を変更します。

【ワンポイント】

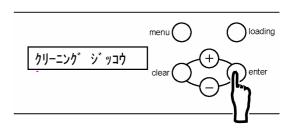
1（回）から 10（回）まで設定できます。
設定値を大きくするほどクリーニングの効果が大きくなりますが、
クリーニング時間が長くなります。

5. ［enter］ボタンを押し、クリーニング実行回数の設定動作を確定させせます。

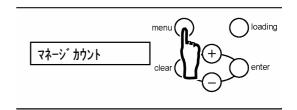
6. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

■ ピンチクリーニングの実行

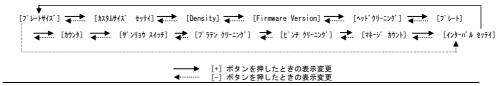
ピンチクリーニングを実行します。

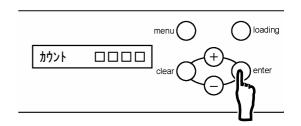
1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、[+]ボタンを 9 回押して LCD 表示を『ﾍｯﾄﾞｸﾘｰﾆﾝｸﾞ』にします。

2. ［enter］ボタンを押した後、[+]ボタンを 3 回押して LCD 表示を『ｸﾘｰﾆﾝｸﾞ ｼﾞｯｺｳ』にします。

3. ［enter］ボタンを押すと、ピンチクリーニングを実行します。

4. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.11　マネージカウントの表示

マネージカウント（積算プリント距離）の表示を行います。
Manage Count Sw が ON（出荷時設定）のときのみ表示されます。

1. 待機状態で［menu］ボタンを押した後、［+］ボタンを 10 回押して LCD 表示を『ﾏﾈｰｼﾞ ｶｳﾝﾄ』にします。

【ワンポイント】

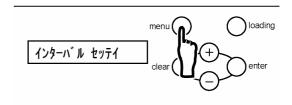
［+］ボタンまたは［−］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押すと、マネージカウント（積算プリント距離）が表示されます。

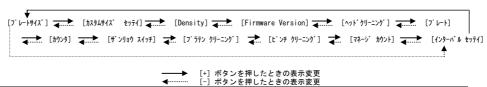
3. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

3.3.12 インターバル設定（連続プリント枚数制限機能）

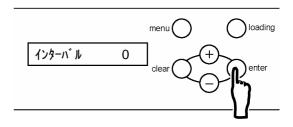
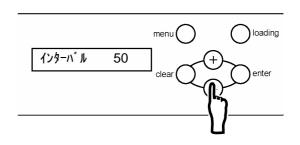
インターバル（連続プリント枚数制限）の設定を行う事で、任意の出力枚数毎に印字を強制停止出来ます。指定枚数毎にサーマルヘッド清掃を行う場合、本機能を用いて強制停止を行ってください。

- インターバル設定で用いているカウンタは、ユーザーカウンタとは別のカウンタ処理となります。
- 電源 ON 時にインターバル設定用のカウンタが作動し、電源を Off にすることで自動的にリセットされます。
- 設定枚数になった後、「プリントリスタート」が LCD に表示されますので、その際に「enter」ボタンを押すことでも積算値はリセットされます。

設定変更方法は、以下の通りです。

1. 待機状態で［menu］ボタンを 1 回押した後、［+］ボタンを 11 回押して LCD 表示を『ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ ｾｯﾃｲ』にします。

【ワンポイント】

［+］ボタンまたは［−］ボタンを押すと LCD 表示が以下のように変わります。

2. ［enter］ボタンを押すと、現在設定されているインターバル設定値が表示されます。

・出荷時設定は「0」です（一時停止 OFF 状態）

3. ［+］，［menu］または［−］，［loading］ボタンを押して、インターバルの設定値を変更します。

【ワンポイント】

0（枚）から 500（枚）まで 10 枚単位で設定できます。
[+]ボタン：+10　　[−]ボタン：−10
[menu] ボタン：+100　　[loading] ボタン：−100
設定 0（枚）の場合、一時停止を行いません。

4. ［clear］ボタンを数回押し、待機状態の表示に戻します。

4章　日常のメンテナンス

4.1　本機内部の清掃

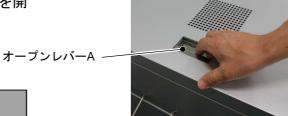
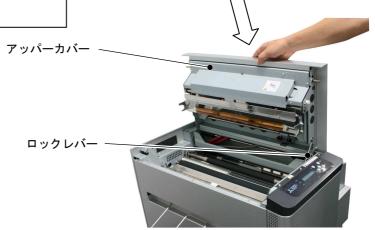
プリント品質を維持する為、定期的に本機内部の清掃を行ってください。
メンテナンス対象となるのは、サーマルヘッド、メインピンチローラ、プラテンローラ、送りピンチローラ、イメージセンサ、ヘッドポジションプレート、クリーニングローラです。

- サーマルヘッド　　・・・　１回／日（出力終了後）
  ※　絵柄に依存しますが、印字版数が多い場合は１日に複数回清掃が必要となることがあります。
- メインピンチローラ、プラテンローラ、送りピンチローラ、クリーニングローラ　・・・　１回／週
- イメージセンサ、ヘッドポジションプレート　・・・　適宜

清掃間隔は、ご使用状況によって変わります。上記間隔を目安とし、代理店技術員の指導に従って実施してください。

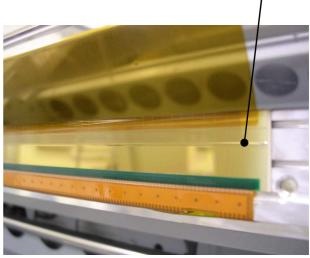
具体的な清掃手順に関しては、次ページ以降を参照願います。

4.1.1　サーマルヘッド清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. サーマルヘッドの発熱部（ガラス状の細い帯の部分）を、推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で、全体に均一に力が掛かるように、左右に動かして拭いてください。

3. その後、推奨研磨紙（3M ラッピングフィルム 4000 番）を用い、ヘッドの発熱部内に残された汚れを掻き落とす様に、ヘッド表面を擦ります。

【ワンポイント】

研磨紙の研磨面は、清掃により剥がれフィルムが露出します。
露出したフィルム面でヘッドを清掃すると、充分な清掃効果を得られませんので、フィルムの位置をずらしながら清掃する用心がけてください。

4. 再度、ヘッド発熱部を推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭きます。

⚠ 注　意

- **プリント直後のサーマルヘッドは高温になっています。危険ですから直接手で触らないでください。**
- **サーマルヘッドの発熱部に指紋が付着すると、ヘッド切れなど故障の原因となりますから、直接手で触らないでください。**
- **アッパーカバーの突起部でケガをしないように注意してください。**

5. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

4.1.2　メインピンチローラ清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. プレートがセットされている場合は、プレートを抜き取ります。

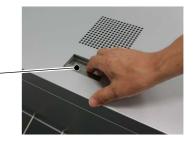
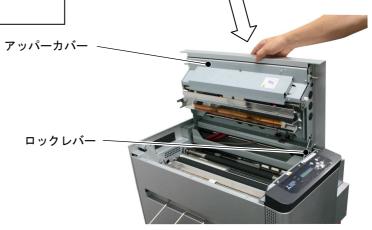
3. メインピンチローラを手で回転させながら、ローラ全面を推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

4. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

5. プレートを抜き取っている場合は、プレートを再セットします。

4.1.3　プラテンローラ清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お　願　い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. プレートがセットされている場合は、プレートを抜き取ります。

3. プラテンローラのゴム部を推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

※　3.3.9 項の機能「プラテンクリーニングモード」を使ってプラテンローラを回転させゴム部全周を清掃してください。

※　全周を清掃するためには 3.3.9 項の「3.」の操作を最低 6 回繰り返す必要があります。

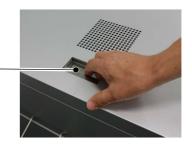
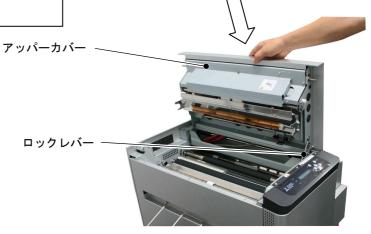
⚠ 注　意
・ **ゴム表面にキズを付けないよう注意してください。**
・ **プラテン部に汚れが付着しているとプリント寸法精度が確保できない場合があります。**
・ **清掃後は、推奨洗浄液が充分に乾いてからプリントを行ってください。（清掃後、5分放置することを推奨します。）**
・ **プラテンローラ回転中は、本機内部に手や清掃用の布を近付けないようにしてください。**

4. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

5. プレートを抜き取っている場合は、プレートを再セットします。

4.1.4　送りピンチローラ清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. プレートがセットされている場合は、プレートを抜き取ります。

3. 送りピンチローラ（上）を取り外し、白いローラ部を推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

4. 送りピンチローラ（下）のゴム部を推奨洗浄剤を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

※　手では回転しづらい為、3.3.9 項の機能「プラテンクリーニングモード」を使ってゴム部全周を清掃してください。

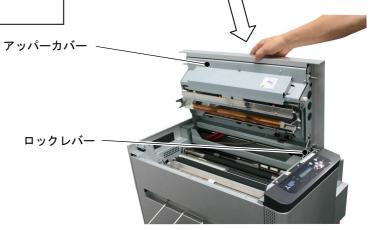
※　全周を清掃するためには 3.3.9 項の「3.」の操作を最低 6 回繰り返す必要があります。

5. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

6. プレートを抜き取っている場合は、プレートを再セットします。

4.1.5　クリーニングローラ清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. プレートがセットされている場合は、プレートを抜き取ります。

3. クリーニングローラを推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

【ワンポイント】

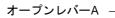
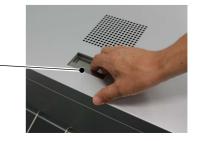
クリーニングローラは、入口側と排出側にそれぞれあります。

4. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

5. プレートを抜き取っている場合は、プレートを再セットします。

4.1.6　イメージセンサ清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. イメージセンサを推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で拭いてください。

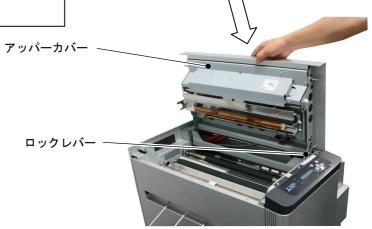
イメージセンサ

3. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

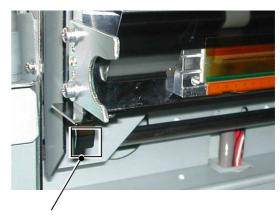
⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

4.1.7　ヘッドポジションプレート清掃方法

1. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

2. ヘッドポジションプレートを、推奨洗浄液を適量含ませた推奨洗浄布で、全体に均一に力が掛かるように、左右に動かして拭いてください。

3. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

4.2 カバーの清掃

本機のカバーの汚れは柔らかい布でカラ拭きしてください。
拭いただけで取れないときは、水または薄めた中性洗剤を少量含ませて軽く拭いてください。

⚠ 警　告

万一、異物（金属片、水、液体）が本機の内部に入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて、代理店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警　告

万一、発熱していたり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて、代理店にご連絡ください。

⚠ 注　意

ベンジン、シンナーなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけますと変色およびひび割れなどの原因になります。

4.3 フィルタの清掃

カバー空気孔のフィルタに埃が溜まっている場合は、掃除機で清掃してください。

4.4　定期交換部品

本機において、定期的な交換が必要な部品は下表の通りです。
交換、及び交換時期については、代理店技術者の指示に従ってください。

No.	名称
1	サーマルヘッド（アッセンブリー）
2	プラテンローラ
3	ピンチローラ
4	送りピンチローラ
5	クリーニングローラ
6	カッタユニット
7	フィルター

※　消耗部品供給可能年数は製品の製造中止後5年間です。
製造中止については別途ご案内申し上げます。

5章　こんなときの処置

5.1　エラーメッセージを表示したとき

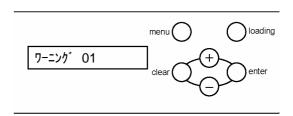
エラーを生じたときには操作パネルの LCD にエラーメッセージを表示します。
下表にその内容と処置について説明します。

LCD 表示	状態	処置
ﾌﾟﾚｰﾄ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ	プレート切れを示します。	• 新しいプレートをセットしてください。
ﾌﾟﾚｰﾄ ｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	プレートがセットされていないことを示します。	• プレートをセットしてください。
ﾌﾟﾚｰﾄ ｻｲｽﾞ ｶｸﾆﾝ	本機に設定されているプリントサイズと、取込んだプレートのサイズが一致しない。	• プリントサイズと、プレートサイズを確認し、間違いがあれば修正してください。
ﾌﾟﾚｰﾄｼﾞｬﾑ□□ (注)	プレートがつまったことを示します。	• つまったプレートを取り出してください。 • 頻繁にプレートつまりが発生する場合は、4 章　日常のメンテナンスを参照し、ローラー類の清掃を行ってください。 • ローラ清掃を行っても同じエラーが表示される場合は、サービス部門へご相談ください。
ｸﾄﾞｳｴﾗｰ □ (注)	本機機構部の不具合を示します。	• 電源 ON/OFF で復旧しない場合、修理が必要と考えられますので、サービス部門にご相談ください。
ｾｲｷﾞｮｴﾗｰ□ (注)	本機制御部ボードの不具合を示します。	
ｵﾝﾄﾞｲｼﾞｮｳ □ (注)	本機内部の温度センサの不具合を示します。	
ｾﾝｻｴﾗｰ□ (注)	本機内部のセンサ系の不具合を示します。	
ﾜｰﾆﾝｸﾞ□□ (注)	サーマルヘッド内部情報に関する警告です。	• 次ページを参照してメッセージをクリアした後、サービス部門にご相談ください。

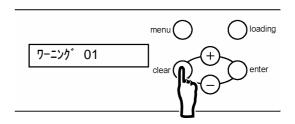
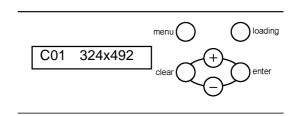
（注）　LCD 表示の□□はサービス用のコード番号（数字）を表示します。
サービス部門へご相談される場合はコード番号を連絡してください。

5.2 ワーニングメッセージを表示したとき

本機の電源投入時、注意喚起の為のワーニングメッセージが、操作パネルの LCD に表示される場合があります。
ワーニングメッセージが表示されると、本機の起動処理が完了しませんので、以下の要領でワーニングメッセージをクリアし、起動処理を完了させてください。
メッセージクリア後は、通常通り本機をお使い頂けますが、メッセージが表示された旨、代理店技術員へご連絡願います。

1. 起動時に、左図の様にワーニングメッセージが表示される場合があります。

【ワンポイント】

ワーニングメッセージは、ワーニング 01、02 の 2 種類あります。

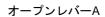
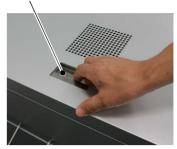
2. ［clear］ボタンを 2 秒間以上押して、メッセージ表示をクリアします。

3. メッセージクリア後、本機は正常に起動完了致します。

5.3　プレートがつまったとき

プレートがつまったときは、電源を切ってプレートを除去してください。

1.　電源スイッチを OFF にします。

2.　オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開き、プレートの状態を確認します。
プレートが残っていない場合は、
「■　プレートが残っていない場合」へ

プレートが残っている場合は、
「■　プレートが残っている場合」へ

お 願 い

アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

- **プリント直後のサーマルヘッドは高温になっています。危険ですから直接手で触らないでください。**
- **サーマルヘッドの発熱部に指紋が付着すると、ヘッド切れなど故障の原因となりますから、直接手で触らないでください。**
- **サーマルディジプレーターの突起部でケガをしないように注意してください。**

■ プレートが残っていない場合

1. 電源スイッチを ON にします。

2. プレートをセットし直します。

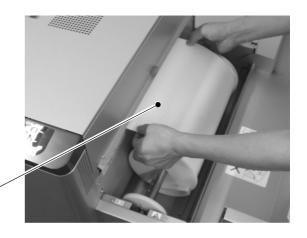
「2.8 プレートのセット方法」を参照してください。

【ワンポイント】

プレートジャムが頻繁に発生する場合は、4章　日常のメンテナンスを参照の上、①ピンチローラ、②プラテンローラ、③送りピンチローラを清掃してください。

■　プレートが残っている場合

1. プレートカバーを開き、プレートを手で引き抜きます。

お 願 い
プレートカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

2. プレートが引き抜けない場合は、しわの部分をハサミで切り取り、プレートを引き抜きます。

3. プレートをセットし直します。

「2.8 プレートのセット方法」を参照してください。

【ワンポイント】

プレートジャムが頻繁に発生する場合は、4章　日常のメンテナンスを参照の上、①ピンチローラ、②プラテンローラ、③送りピンチローラを清掃してください。

5.4 白抜けが発生したとき

■ プレートの送り方向にまっすぐなスジ状の白抜けが発生したとき

- サーマルヘッドの汚れにより生じている場合がありますので、4 章「4.1.1 サーマルヘッド清掃方法」に従って、サーマルヘッドを清掃してください。
- 清掃しても直らない場合は、サービス部門にご相談ください。

■ つぶ状の白抜けが発生したとき

- クリーニングローラの汚れにより生じている場合がありますので、4 章「4.1.5 クリーニングローラ清掃方法」に従って、クリーニングローラを清掃してください。

5.5　プレートを正常に検出しないとき

- プレート切れでないのに「ﾌﾟﾚｰﾄ ｶﾞ ﾅｸﾅﾘﾏｼﾀ」のエラーメッセージを表示したとき

プレートセンサの汚れにより、プレートを誤検出している場合がありますので、次の手順でプレートセンサを清掃してください。
清掃しても直らない場合はセンサが故障していることが考えられますので、サービス部門にご相談ください。

1. 電源スイッチを OFF にします。

2. オープンレバーA を握り､アッパーカバーを開きます。

お 願 い
アッパーカバーを急激に開いたり、90 度以上無理に開かないでください。

⚠ 注　意
・ プリント直後のサーマルヘッドは高温になっています。危険ですから直接手で触らないでください。 **・ サーマルヘッドの発熱部に指紋が付着すると、ヘッド切れなど故障の原因となりますから、直接手で触らないでください。** **・ サーマルディジプレーターの突起部でケガをしないように注意してください。**

【ワンポイント】

アッパーカバーには、倒れ防止にロックレバーが付いています。アッパーカバーを開いた時は、ロックレバーが有効になる位置まで開いてください。

3. プレートセンサを、推奨洗浄液を適量含ませた専用洗浄布で拭いてください。

【ワンポイント】

上記写真に示す丸印の 8 箇所の穴に綿棒を入れて、円を描くように拭き取ってください。

4. ロックレバーを外し、アッパーカバーをゆっくりと閉じます。

⚠ 注　意
アッパーカバーを閉じる時は、指をはさまないように注意してください。

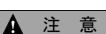
5.6 プリント中に電源が切れたとき

- 停電した場合
- 不測の事態でコードが抜けてしまった場合

プリント中に電源が切れると、サーマルヘッドがプラテンローラに押し付けられたままとなり、長時間放置するとゴム製のプラテンローラが変形することがあります。変形を防ぐため、次の手順にしたがって処置してください。

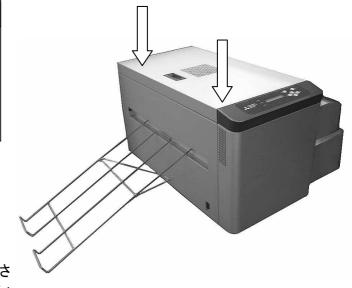
1. 電源スイッチを切り、電源供給を復旧させます。

・停電の場合、アッパーカバーを開いて、電気が供給されるまで待ちます。電気が供給されたらアッパーカバーを閉めてください。
・コードが抜けた場合は、そのままの状態で電源コードを電源供給端子に、または、コンセントに差してください。

 注　意

プリント中に電源が切れた場合、サーマルヘッドに力がかかった状態となっているためオープンレバーA、および、アッパーカバーが動作し難く（重く）なっています。通常の場合より力を入れて操作してください。

2. 電源スイッチを ON にします。

注　意

電源スイッチを ON にしても待機状態とならない場合、アッパーカバーが最後まで閉まっていないことが考えられます。アッパーカバーの角部（右写真参照）を「カチャッ」と音がするまで強く押してください。

3. 操作パネルの LCD に『ﾌﾟﾚｰﾄｼﾞｬﾑ』と表示された場合は、「5.3 プレートがつまったとき」を参照し、対処してください。

6章　アフターサービスについて

製品に関するご相談、修理のご依頼はお買い求めの代理店までご相談ください。

7章　仕様

7.1　基本仕様

項目	仕様
プリント方式	直接感熱方式（ダイレクトサーマル）
解像度	1203.8DPI ヨコ方向ドットピッチ：0.0211mm タテ方向ドットピッチ：0.0211mm
プレートサイズ	（幅×長さ）310mm×150mm～459mm×530mm
最大記録幅	360mm
プリント時間	60 秒／枚　以下 ※.プレートサイズ：340ｘ505、 環境温度 20℃、連続出力の場合
プレートトレイ容量	5 枚
バッファメモリ容量	64Mbyte　（1 画像分）
インターフェース	USB2.0（High スピード）
電源	AC90～264V　自動切換
消費電力	最大消費電力　　360W 以下 待機時　　　　　30W 以下
使用環境	温度 20～30℃　湿度 50～70%　（結露は不可）
外形寸法	高さ 385mm×幅 515mm×奥行 663mm　（本体）
質量	約 55kg　（本体）

※ 本機の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

7.2　概要図